

# 日本共産党の2議席で くらし・9条守りぬきます



近藤けい子 佐伯ふみ子

## お約束1 「福祉の心」で、市民のくらし守ります

「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本」とする（地方自治法第1条の2）ことは市・自治体の大切な役割です。

日本共産党の2議席で、一緒にくらし・福祉を守りましょう。

### 一緒に実現しましょう

- **国保税を1世帯2万円引き下げを**
  - ・子どもの均等割りの廃止。
  - ・実現には1億3千万、基金（5億円）の活用ですぐできます。
- **月5万円の介護手当を**
  - ・川北町では寝たがり・認知症を自宅で介護する方に支給しています。
- **保育料を第2子以降、完全無料に**
- **学校給食を無料に**
  - ・「義務教育は無償」（憲法26条）と全国で広がっています。
- **住宅リフォーム助成制度の復活を**
- **地元の産業・業者支援を**
  - ・農林漁業や地場産業、中小業者の支援をすすめます。
- **市民の足の確保を**
  - ・市が補助して乗り合いタクシーを、路線バスをもっと便利に。
- **一般家庭の水道料金引き上げは中止に**

予算の4%  
で実現できます

市民のくらしを思いやる  
“福祉の心”があれば、す  
ぐに実現できます。

## 「これでは生きていけません」

…悲鳴が上がっています

### ● 国保税は年2万円もアップ

17万6千円→19万3千円に（一世帯平均）

- ・2010年、11年に連続で上げられました。
- ・一方で国保に加入している世帯の収入は134.5万（合併時05年）から97万円（15年）に激減です。

**声** 年金は少ないのに、支払うべきものが多い。すぎる。

### ● 介護保険料は1.7倍に

3,600円(05年)→6,000円(15年)

**声** 保険料だけ上がって、利用がますますできない。

### ● サービスは次々きりすて

デイサービスの食事代補助（1食180円）を廃止（15年）

いきいき安心医療費助成は1/10以下に

- ・対象を次々減らし、06年には3,945万円あった助成額が15年には226万円と1/10以下になりました。

**声** 年寄のささやかな楽しみまで奪うなんてあんまりだ。

長寿祝い金もバツサリ

- ・「100歳で20万円」が今では「1万円相当の品物」に。
- ・対象年齢なども次々と削り、制度全体の助成額は、554万円（06年）から108万円（15年）と1/5に。

ふれあい入浴サービスもバツサリ

- ・「年50回まで無料」を15年3月に廃止。1回100円になりました。

市合併の時は「サービスは高く、負担は低く」といったのに逆さまではありませんか。

自民・公明の「オール与党」議員は、値上げ、サービス切りすてに「みんな賛成」してきました。

## お約束2

## 「戦争する国づくり」ストップ! 自衛隊員・能美市の若者を一人も犠牲にさせません

イラク・インド洋の自衛隊PKO派兵（01年～10年）では、危険な任務で心を病むなど、帰国後56人も自殺。南スーダン派兵でも1人が自殺しました。

安倍首相はさらに、「憲法改定」で海外の戦争に無制限に自衛隊を派遣しようとしています。

能美市の若者を1人も犠牲にしてはなりません。東京につづいて能美市からも「9条改憲ノー」の審判を下しましょう。



### とんでもありません!

### 「オール与党」で「戦争する国づくり」推進

2015年9月議会 ○賛成、×反対

	共産党	自民系	公明系	保守系 無所属
安全保障関連法案の撤回を求める意見書	○	×	×	×

東京都議選で、自民大敗（57→23議席）、共産躍進（17→19議席）  
能美市からも「9条改憲ノー」「くらし守れ」の声を示そう!

のみ民報

2017年8月号外 日本共産党能美市委員会は、能美市議選の候補者を発表しました。発行：日本共産党能美市委員会（能美市粟生町14、☎57-3487）

10月22日投票 市議選

日本共産党